

の杜 狛犬

参道狛犬研究会ニュース



1998年3月16日

第6号

編集 阿由葉郁夫 山崎 衛
発行 日本参道狛犬研究会

浦和市高砂 2-4-6
市民文化センター
TEL 048(822)2548
FAX 048(822)6472

僕が初めてインターネットというものを体験したのは96年の夏前のことで、まだ2年も経っていない。最初の接続で検索サイトから「狛犬」と入力したところ、円丈師匠の「なんじゃこりゃ!」という網頁(h t t p : / / www.cplaza.ne.jp/enjo/)がヒットしそこに連れて行かれた。

当時は狛犬というキーワードで接続できるサイトはこれくらいだったのだが、今では狛犬の画像だけでなく300以上収録してある我がタヌパックススタジオ別館「狛犬博物館」(http://www2.biglobe.ne.jp/~takuki/index.htm)をはじめ、いくつもの「狛犬サイト」がある。

インターネットも 狛犬ブーム

鐸木能光

内の全神社を紹介し尽くすのが目標とか。

「これでいいのだ」

(http://www.takenet.or.jp/~tech/index.htm).....円丈網頁の掲示板常連だった大須赤門さんの網頁。私が「鑑定士」を務める狛犬コーナーも最近では充実度満点。

「猪子芳明の狛犬ギャラリー」

(http://www.infoeddy.ne.jp/~jcinoko/).....85歳 四国の狛犬翁渾身のライフワーク。

「古徳沼通信」

(http://www.ingjapan.or.jp/aisa/).....写真の美しさは特筆もの。茨城県方面の狛犬をじっくり見るならここ。

この他にもいくつかがあるが、今や「生きた」狛犬のことを調べるなら図書館よりもインターネット.....ということだけは言えそう。

例会報告

平成10年1月16日(日)

於豊島区立労働福祉会館

一、円丈の狛犬講座

「テーマは誰も鳥居を見ていなかった!」前号で書いた小松さんへの反撃のからいジャブ、江戸期にミカ

ゲは箱根の山を越えなかった!に対する反証。江戸期のミカゲ鳥居をテーマとしたフィールドワークの報告。しかも6頁の詳細な報告書付き。

二、天乃屋白馬の高知報告

しん平師匠欠席のため急遽代打に登場いただいたのが天乃屋白馬師匠。高知市内を回った際の狛犬写真を披露。出来れば「フィルム交換できる使い捨てカメラ」はやめていただきた。

落語も出来る小松石鑑定人

三遊亭円丈

今月の例会では、大阪の名工「丹波佐吉」の狛犬を紹介しました。2月に奈良に行き7対ほど見てきた。晩年発狂し、行方知れずになつた佐吉「石工のゴッホ」と私は呼ぶことにした。果たして狛犬の方も炎のように凄いか?乞うご期待!!



素鷲神社 / 湯河原町吉浜、寛文10年(1670)

帰りに、本小松と新小松を海岸で拾って帰路に着いた。ホント楽しい一日でした。なお、真鶴へ行ったら駅前の喫茶店に寄ると良い(なんにもない駅前なので直ぐ分かる)このマスター、料理はともかく石はムチャク詳しい。その上シンセツ!しかもこの雑居ビルに石材協会もある。しかもマスターは、協会の鍵まで持つて。もう行くしかない。



三、今月の一枚

三宅さんからの、神戸震災で狛犬は...と題して神戸狛犬の近況報告。今月の一等賞は圧倒的支持で畑村健さん、なぞの木製土台狛犬! (写真上)

四、ゲストスピーチ

田中邦博さんより、獅子頭、獅子舞について。その歴史、形態等についての解説。郷土玩具の獅子頭が楽しかった。鈴木さんより、「狛犬訪ね歩き」神楽坂コース」を配布いただきました。

狛犬紀行

運搬の歴史を秘めた萩日吉神社の石段

三宅稜威夫

秩父に近い都幾川村は、慈光寺(埼玉県最古の寺)と木工の里として知られる。数々の史跡からみると、かつては「聖地」であつたらしい。村の山麓に萩日吉神社がある。六世紀に近江日吉大神を勧進し創建されたと伝えられる古社である。樹齢八百年の児持杉を

いたち、伊豆 江戸 新河岸川 越して許をえて大八車で当地に運んだといわれる。舟運と陸運の組み合わせである。狛犬を見る場合、その背後にかくれている運搬の歴史に思いをめぐらすことも大切である。



乱筆狛犬探偵団

狛犬のふる里? (真鶴から帰って少しは小松石がわかつたつもりだ。たの、実際に狛犬に会うと、やっぱり石は良くわからない。安山岩質であることは分かつて、確かに小松石だとはとても言える自信がない。これじゃあ、小松石鑑定人の付き人にさえなれそうもない。先代を見つけるとうれしくなる。先代を大切に扱ってくれる神社はいっぱい。費銭もはみたくなくなってしまう。だが、頭だけ残って台座に乗せられている姿は、さし首のようで悲しくなる。狛犬好きが集まっているのは、狛犬だけではありません。と云う訳で、鐸木さんにインターネット上で狛犬の世界を紹介いただいた。是非一度覗いて見て下さい。長らくの冬眠からさめて、円丈師匠の、なんじゃこりゃ!も近々再開されるとの事です。今号から、狛犬の杜の印刷がグツと良くなつたはですが、如何でしょうか?これは編集担当の山崎氏に負つた所大です。感謝阿)

お知らせ

狛犬研活動予定

今年から例会は2ヶ月に1回、奇数月の開催となります。また、フィールドワークは春秋の偶数月に各1回出来ればと思っております。そして12月には忘年会!!

春のフィールドワーク

4月29日(祝) 品川方面を予定!

「狛犬」写真情報募集

前回の「狛犬ズミ」に続いている第二弾。牛です。撫で牛ではなく、対になつた「狛牛」の写真情報をお願いします。なを、次号より、神使録のコーナーが始まります。乞うご期待!